

芦花公園駅周辺地区街づくり計画原案・構想

ゆったりと暮らせる

ふれあいの街^{まち}

平成24年(2012年)9月

芦花公園駅周辺地区街づくり協議会

目次

1. はじめに	1
2. 街づくり提案の性格	2
3. 街づくりの将来像・基本方針	3
4. 街づくり構想図	4
5. 街づくりのテーマと方針	5
(1) ふれあい、助け合いがある街	6
(2) 文化や緑など、潤いが感じられる街	7
(3) ゆっくり、買い物ができる街	8
(4) 災害に強い街	9
(5) のんびり、安全に歩ける街	10
6. 資料編	11
(1) 街づくり協議会の活動経過	11
(2) 中間まとめに対する地区住民等の意見	13
(3) 街の資源と課題（街歩きのみ）	19

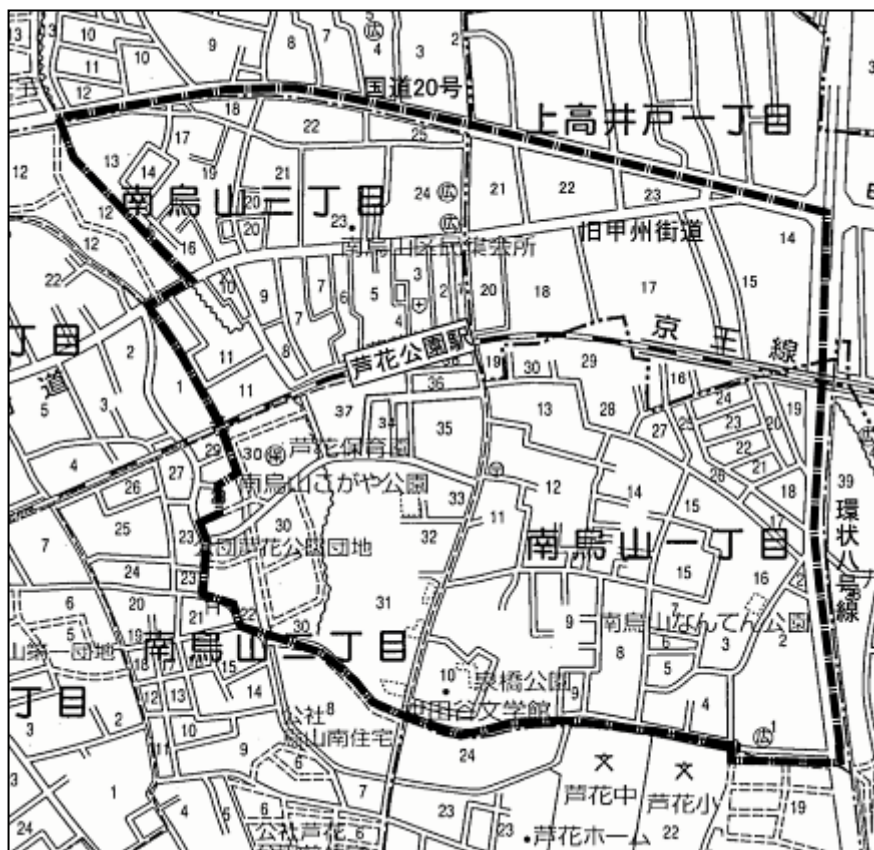
1. はじめに

この「街づくり計画・構想」（以下、「街づくり提案」）は、現在、東京都・世田谷区・杉並区・京王電鉄(株)によって都市計画の手続きが進められている京王線の「連続立体交差化及び複々線化事業」（以下、「連立事業」という。）を契機に、地区の交通環境をはじめとした、まちづくり全般について、芦花公園駅周辺地区街づくり協議会（以下、「街づくり協議会」という。）で、3年間にわたって様々な検討を重ねてきた結果としてとりまとめたものです。

■街づくり協議会の歩み

街づくり協議会は、世田谷区烏山支所街づくり課の呼びかけのもと、世田谷区内の町会・自治会と商店会のメンバーが中心となって、平成19年4月から「街づくり勉強会」をおこない、平成20年4月に「街づくり懇談会」を発足、さらに、地区が隣接する杉並区の皆様にも呼びかけ、平成21年8月に「芦花公園駅周辺街づくり協議会」として発足、月一回定例会を開催し、まち歩きや駅前ロータリーの調査等を通じて、様々な角度からまちづくりの検討及び活動をおこなってきました。

なお、街づくりの提案を世田谷区・杉並区に提出することにより、街づくり協議会活動の大きな目的を達成しますが、引き続き地域でできる街づくりを、できることから少しずつ進めていく予定です。



2. 街づくり提案の性格

「街づくり提案」は、京王線連続立体交差化事業の完了を見据え、将来のあるべき街の姿を、生活者の立場から提案するものです。それぞれの住まいの場所や、ライフスタイルにより、街に対するニーズや想いは様々ですが、街づくり協議会で話し合いを重ね、私たちの共通の想いを描いたものです。なお、この街で生活している私たちにとって、早急に解決すべき課題も少なくありませんが、街づくり提案は、連続立体化を見据えたあるべき姿として提案するものです。

提案の内容は、私たち地域で主体的に取り組むべきこと、鉄道や道路整備など行政や関係機関が中心となって担うこと、住民と行政が協働で進めるものがあります。また、実現のためには、地権者など、利害関係者の合意形成が必要なこともあります。

この様に担い手や進め方は様々ですが、芦花公園駅周辺の街を、安全・安心で、魅力ある街にしていくための、街づくりのひとつの方向性を提案するものです。

3. 街づくりの将来像・基本方針

■街づくりの将来像

ゆったりと暮らせるふれあいの^{まち}街

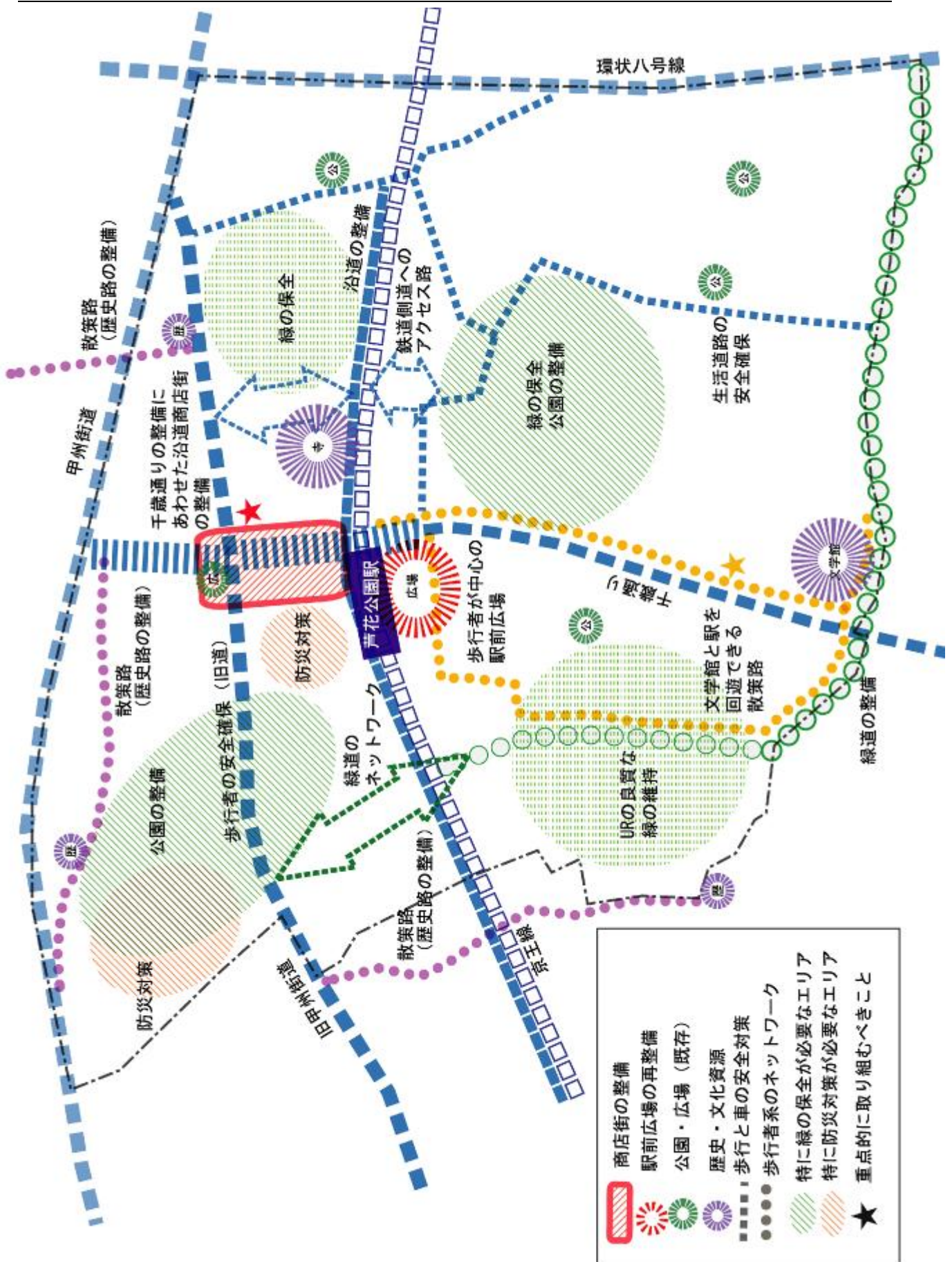
私たちの街は、利便性や賑わいは劣るかもしれませんが、一方で、「ゆたたりさ」が良さであり、また、人と人だけでなく、様々なふれあいの中で、安心して暮らせる街をめざします。

■街づくりの基本的な考え方

文化や歴史、緑などの魅力ある街づくりを進める

芦花公園は、文学館や蘆花恒春園がある駅としても知られており、街のあちこちに歴史的資源が点在しています。また、駅周辺には農地が残されており、UR 団地や戸建て住宅地の緑が豊かなことも私たち街の財産です。文化や歴史、緑とふれあいながら暮らせる魅力を活かした街づくりを進めていきます。

4. 街づくり構想図



5. 街づくりのテーマと方針

「ゆったりと暮らせるふれあいの街」を実現するためには、文化・歴史や緑とのふれあいだけでなく、様々なことを進めていく必要があります。街づくりを進めていくうえでの課題は、住んでいる場所や生活スタイルなどにより捉え方が異なりますが、ともに街づくりを進めていくために、次の5つのテーマに分けて、街づくりの方針を整理しています。

なお、この方針は、私たち地域住民が主体となって取り組むべきこと、行政が主体的に進めていくべきこと、一緒に取り組むことなど、様々な取り組みを記載しています。

■街づくりの5つのテーマ

- (1) ふれあい、助け合いがある街
- (2) 文化や緑など、潤いが感じられる街
- (3) ゆっくり、買い物ができる街
- (4) 災害に強い街
- (5) のんびり、安全に歩ける街

街づくりは、行政と地域での協働が基本ですが、主な担い手を下記の通り表示しています。また、それぞれのテーマは、欠かすことができない内容ですが、その中でも特に重要な内容についても「★」で表示しています。

- ◎：地域と行政が協働して進めること
- ：地域が中心となって進めること
- ◇：行政が中心となって進めること
- ★：重点的に取り組むべきこと

(1) ふれあい、助け合いがある街

このテーマは、将来像の実現に向けて、私たちが最も大切にしたいことであり、また、私たち自身が主体的に取り組むことです。「ふれあい」「助け合い」はもとより、それぞれが気持ちよく暮らせる様に、「マナー」を大切にしたい街づくりを目指します。

《街づくりの方針》

①お祭り等による地域の活性化

○芦花祭りなど、地域のお祭りを盛り上げる。

◇駅前広場をお祭り等で活用できる様にする。また、鉄道の立体化に合わせてお祭りができる広場に再整備をする。

★②美化活動の推進

◎地域の団体との連携により、路上禁煙などの美化活動に取り組む。

③地域コミュニティの活性化

○町会等の活動の魅力づくり、PR活動をする。

○サロンを開催、定期的な集いの場をつくる。若者の力を借りる。(後掲)

○地域の様々な人的資源のネットワークづくりを進める。

(2) 文化や緑など、潤いが感じられる街

街づくりの基本的な考え方でもふられている通り、文化や歴史、緑は、私たちの街にとって、大きな魅力のひとつです。人と人とのふれあいはもとより、文化や歴史、緑とふれあうことにより、潤いが感じられる街づくりを目指します。

《街づくりの方針》

★①駅と文学館との回遊性を持たせる

◇遊歩道（緑道、水路）を整備する。

◎案内板等を整備する。

○街並みや景観に配慮しながらプランター等による沿道の緑化をする。

◎ひと息付ける場をつくる（喫茶店の誘致、ベンチの設置等）。

②緑の保全・創出

◇駅周辺に緑を創出する。

◎桜並木、大木、農地など、緑の資源を守り・育てる。

◎個々の住宅の緑を確保するためのルールづくりを進める。

③公園や広場の魅力づくり

○ポイ捨ての防止など、公園の維持管理を推進する。

○見通しを確保したうえで、植栽の充実を図る。

◇公園・広場の新設

④歴史を活かす

○烏山神社、お地蔵さん、石碑などの地域の歴史を発掘し、街の資源として案内板等によりPRをしていく。

◎案内板等により歴史路の整備をする。

(3) ゆっくり、買い物ができる街

芦花公園駅周辺には、大きな商店街はありませんが、地域で買い物ができるという利便性は重要です。一方、宅配により何でも揃う社会になりましたが、特に、高齢化が進む中、外出して会話を楽しみながら、買い物ができることは介護予防にもつながります。そのためには、車や自転車を気にすることなく、ゆっくりと安心して買い物ができる街を目指します。

《街づくりの方針》

①千歳通り整備に伴う沿道の商店街の整備

◇ゆっくりと回遊しながら買い物を楽しめるように商業空間を整備する。

②鉄道の立体化で生まれる空間の商業利用

◎地元商店会の人優先的に利用できるように要望する。

③自転車で利用できる商店街

◎荷物がある時の自転車利用や、駅から少し離れた人も利用しやすいように買い物用の自転車置き場を整備する。

④人と人とのふれあいがある商店街

○会話を楽しめる商店街など、スーパーには無い、魅力づくりをする。

★⑤高齢者や子育て交流の場や機会づくり

○空き地、空き店舗を活用したサロンを開催する。

○定期的な活動、集いの場をつくる。(例：5のつく日に行けば、何かをやっている等)

○大学や学生の力を借りてサロンを開催する。

○世代間交流のしかけをつくる。(囲碁・将棋)

○自主運営ができる地域の基盤をつくる。

◎文学館との連携による文学関連のイベントを開催する。

(4) 災害に強い街

将来像や街づくりの基本的な考え方では掲げていませんが、「安全・安心」は、街づくりの基本です。特に、首都圏直下型の大震災の確率が高まっていることから、道路や建物の安全対策に加え、地域のつながりにより、災害に強い街を目指します。

《街づくりの方針》

①地域の連携や共助による防災街づくりの推進

- 災害時要援護者に対する支援をおこなえる様に、集合住宅や街区等の小さな単位で、防災活動を推進する。
- ◎学校やUR都市機構、マンションの管理組合等と連携し、防災設備の活用など、災害対策に取り組む。

②住宅地の防災性を高める

- ◎避難経路における倒壊の危険性がある万年塀の把握など、防災対策をおこなう。
- ◎4m幅員、隅切りの確保等による一部住宅密集地の防災機能の向上を図る。
- ◇公園・広場等を確保し、住宅密集地の防災性を高める

★③災害を想定した対策

- ◎地域と行政・関係機関が連携して災害時要援護者対応に取り組む。
- ◇適正な避難場所の確保、避難場所の周知等
- 発災を想定した防災訓練を実施する。
- ◎災害時の情報伝達のあり方について検討する。
- ◇災害時の通信手段の確保（公衆電話等）

(5) のんびり、安全に歩ける街

芦花公園駅周辺地区は、ある程度の道路基盤はあるものの、千歳通り（踏切から北側）や旧甲州街道、生活道路の一部で、歩行者の安全性が脅かされています。新たに幹線道路をつくる計画はありませんが、歩行者が安全、快適に、のんびりと歩ける街を目指します。

《街づくりの方針》

★①千歳通り（京王線北側）の整備

- ◇拡幅整備をおこない、ゆったり買い物ができる歩道を整備する。
- ◇拡幅整備にあわせて沿道の商店街の整備をおこなう。

②歩行者が中心となる駅前広場（ロータリー）の再整備

- ◇鉄道の立体化にあわせて再整備をおこなう。
- ◎お祭り等が開催できる広場にする。

③旧甲州街道の歩行者の安全確保

- ◇電柱の地中化等により、歩行者空間を確保する。
- ◇旧甲州街道と千歳通りの交差点の渋滞緩和を図る。

④住宅地内の道路の安全確保

- ◇通学路等の安全を確保するため、交通規制等による通過交通対策を図る。
- ◇交通安全設備等による安全対策を図る。

⑤鉄道の側道とのアクセス路の整備

- ◇日常生活や災害時の避難路の確保のため、南北方向の通り抜け路を確保する
- ◇鉄道の立体化にあわせて整備をおこなう。

⑥案内板の充実

- ◎文学館へのアクセス路や歴史路に案内板を設ける。

⑦バス路線の充実

- ◇利便性の向上（運行回数の増・空白時間帯の解消、買い物・公共施設等のバスルート）
- ◇バス停の位置の検討（利便性、交通の円滑化対策等）
- ◇コミュニティバスの充実（散歩をしながらバスにも乗れる様に、遊歩道沿いのバス路線を充実など／芦花公園駅～文学館～蘆花恒春園～千歳温水プール～千歳船橋）

⑧交通安全対策

- ◇交通標識、交通安全施設（カーブミラー等）の改善
- ◎交通法規の遵守（マナーの徹底）
- ◇適正な交通取り締まりの強化

⑨防犯対策

- ◎自主的な防犯活動を含めたパトロールの強化
- ◇交番の配置の見直し等

6. 資料編

(1) 街づくり協議会の活動経過

平成19年

4月 芦花公園駅周辺地区街づくり勉強会スタート
(略)

平成20年

4月 芦花公園駅周辺地区街づくり懇談会スタート
(略)

平成21年

7月 ◇街づくり協議会ニュース準備号発行(全戸配布)

8月8日 街づくり協議会設立総会

9月 ◇街づくり協議会ニュース第1号発行(会員向け)

9月4日 第1回運営委員会(活動予定について、運営事務等について 等)

10月9日 第1回街づくり検討会(街づくり協議会は何をするか、何ができるか 等)

11月13日 第2回街づくり検討会(街の良いところを守り、街をどう変えるか 等)

12月11日 第3回街づくり検討会(芦花公園駅周辺地区の街の現況、街づくり関連計画について)

平成22年

1月15日 第2回運営委員会(街づくり検討会について ~勉強会を振りかえって~等)

2月 ◇街づくり協議会ニュース第2号発行(会員向け)

2月12日 第3回運営委員会(見学会について、総会について 他)

3月12日 第4回運営委員会(総会に向けて 他)

3月13日 第4回街づくり検討会(北沢5丁目・大原1丁目地区見学会)

4月9日 第5回運営委員会(見学会について(感想)、総会について)

4月 ◇街づくり協議会ニュース第3号発行(会員向け)

5月15日 第2回定期総会

6月11日 第6回運営委員会(活動スケジュール、協議会ニュースについて)

6月 ◇街づくり協議会ニュース第4号発行(会員向け)

7月17日 第5回街づくり検討会(街歩き、意見交換)

8月13日 第6回街づくり検討会(街歩きのふりかえり、今後の活動、ニュースの発行について)

9月10日 第7回まちづくり検討会(街づくり計画・構想の提案に向けて)

9月 ◇街づくり協議会ニュース第5号発行(会員向け)

10月8日 第8回まちづくり検討会(駅ロータリー調査について)

11月12日 第9回まちづくり検討会(駅ロータリー調査)

12月10日 第10回まちづくり検討会(まちづくり構想・計画に向けた取り組みについて)

平成23年

1月14日 第11回まちづくり検討会(踏切の安全対策について)

2月10日 第12回まちづくり検討会(まちづくり構想・計画(中間まとめ)に向けた取り組み)

2月 ◇街づくり協議会ニュース第6号発行(会員向け)

- 3月11日 第13回まちづくり検討会（まちづくり構想・計画（中間まとめ）について）
- 4月16日 第3回定期総会
- 5月13日 第14回街づくり検討会（分科会：ロータリー調査の反映について 検討会：テーマ別の検討：街の潤いや文化、美観、遊歩道）
- 6月9日 第15回街づくり検討会（分科会：ロータリー調査の反映について 検討会：テーマ別の検討：道路全般について）
- 7月14日 第16回街づくり検討会（分科会：路上禁煙の取り組みについて 検討会：テーマ別の検討：街の安全性について）
- 8月11日 第17回街づくり検討会（分科会：路上禁煙の取り組みについて 検討会：テーマ別の検討：街の安全性について）
- 9月8日 第18回街づくり検討会（街づくり構想・計画（中間まとめ）について）
- 10月14日 第19回街づくり検討会（街づくり構想・計画（中間まとめ）について）
- 11月9日 第20回街づくり検討会（商店街関係者との意見交換会）
会員向けアンケート実施（中間まとめに向けた意見反映）
- 12月8日 第21回街づくり検討会（街づくり構想・計画（中間まとめ）について）
- 平成24年
- 1月12日 第22回街づくり検討会（会員意見の反映について）
- 2月9日 第23回街づくり検討会（街づくり構想・計画（中間まとめ）について）
- 3月8日 第24回街づくり検討会（街づくり構想・計画（中間まとめ）について）
- 3月 ◇街づくり協議会ニュース第7号発行（会員向け）
- 4月14日 第4回定期総会
- 5月 ◇街づくり協議会ニュース特別号発行（中間まとめ 全戸配布）
- 5月10日 第25回街づくり検討会（中間まとめに関する意見交換）
- 6月14日 第26回街づくり検討会（中間まとめに関する地域からの意見について）
- 7月12日 第27回街づくり検討会（最終提案に向けて）
- 8月9日 第28回街づくり検討会（最終提案に向けて最終意見調整）
- 9月13日 臨時総会
- ※その他、事務局会議（事前打ち合わせ）を毎月開催。

(2) 中間まとめに対する地区住民等の意見

会員以外の地区住民からの意見を反映させるため、「街づくり協議会ニュース特別号」を平成24年5月に発行し、全戸配布(約7,000戸)をしました。その結果、21名の方から様々な意見が寄せられました。

〒157-0062
東京都東区南青山 1-27-1
世田谷区南青山 1-27-1
世田谷区南青山 1-27-1
世田谷区南青山 1-27-1

世田谷区南青山
1-27-1
世田谷区南青山
1-27-1
世田谷区南青山
1-27-1

世田谷区南青山
1-27-1
世田谷区南青山
1-27-1
世田谷区南青山
1-27-1

世田谷区南青山
1-27-1
世田谷区南青山
1-27-1
世田谷区南青山
1-27-1

世田谷区南青山
1-27-1
世田谷区南青山
1-27-1
世田谷区南青山
1-27-1

①のんびり、安全に歩ける街

芦花公園駅周辺地区は、ある程度の道幅確保はあるものの、千歳通り(龍崎から北側)や旧甲州街道、生活道路の一部で、歩行者の安全が脅かされています。新たに幹線道路をつくる計画はありませんが、歩行者が安全、快適に、のんびりと歩ける街づくりを進めていきます。

- ①千歳通り(京王線北側)の整備
 - ・高規格歩道をおこない、ゆたかに買い物ができる歩道の確保。
 - ・駅前整備にあわせて沿道の商店街の整備。
- ②歩行者が中心となる駅前広場(ロータリー)の再整備
 - ・駅前周辺の活性化を図る再整備。
 - ・お祭り等の開催ができる広場にす。
- ③旧甲州街道の歩行者の安全確保
 - ・電柱が空中に垂れ下がる歩行者の危険の確保。
 - ・千歳通りの交差点の歩道整備。
- ④住宅地内の道路の安全確保
 - ・通学路等の安全を確保するため、交通規制等による道路交差点の確保。
 - ・交通安全設備等による安全対策。
- ⑤歩道の舗装とアクセシブルな整備
 - ・日常生活や災害時の避難路の確保のため、南北方向の通り抜けの確保。
 - ・歩道の立地化に向けた整備。
- ⑥駅前広場の充実
 - ・文学館へのアクセス路や歴史館に案内板を設置。
 - ・バス路線の充実
 - ・多機能性の向上(郵便局の設置、買い物・公共施設等のバリエーションの確保)
 - ・コミュニティバスの充実(散歩しながらバスにも乗れる様に、遊歩道に近いバス路線/芦花公園駅~文学館~蓮花所書庫~千歳通りプール~千歳通り)

私たちがめざす街づくり (中間まとめ)

発行：芦花公園駅周辺地区街づくり協議会
平成24年5月発行

みなさまのご意見をお寄せください。

調査：東京都・世田谷区・杉並区・京王電鉄(株)によって、京王線の駅周辺をめぐり、連続した街づくり協議会(以下、「連立事業」という。)の都市計画の手続が進められています。芦花公園駅周辺地区街づくり協議会は、平成21年8月に設立し、街づくりに関する様々な検討を重ねてきました。そのひとつの成果として、この「街づくりの提案(中間まとめ)」をとりまとめた。この街づくり協議会ニュースでは、その概要を紹介いたします。

今後は、みなさまからのご意見をいただき、さらに協議会において検討を重ね、7~8月頃を目処に、世田谷区・杉並区に「街づくりの提案」をおこす予定です。

■街づくり提案の性格

「街づくりの提案」は、京王線連続した街づくりの提案を、将来のあるべき街の姿を、この街で生活する立場から提案するものです。一方、それぞれの住まいの場所や、生活スタイルにより、街づくりに対するニーズや思いは様々ですが、街づくり協議会で話し合いを重ね、私たちの共通の思いを盛り込んだものです。

■芦花公園駅周辺地区街づくり協議会

芦花公園駅周辺地区では、京王線の連続した街づくりを視野に入れて具体的な街づくりの検討を進めるため、世田谷区南青山地区街づくり協議会(以下、「世田谷協議会」という。)を設立し、協議会に加入していただくことを呼びかけ、平成21年8月に「芦花公園駅周辺地区街づくり協議会」を設立し、第一回の定例会を開催し、まち歩きやロータリー調査等を通じて、様々な視点からまちづくりの検討を進めてきました。

平成24年4月現在の会員数は約80人で、定例会は、原則として毎月第2木曜日午後6時30分~8時30分に開催しています。

関心がある方は、事務局までご連絡ください。

②災害に強い街

将来や街づくりの基本方針では掲げていませんが、「安全・安心」は、街づくりの基本です。特に、自然災害や大規模な火災の発生が高まっていることから、道路や建物の安全対策に加え、地域の賑わいによる防災街づくりを進めていきます。

- ①地域の連携や共助による防災街づくりの推進
 - ・自治会単位や町単位での防災活動の推進。
 - ・学校や子育て施設、マンションの防災活動等と連携し、防災活動の活用など、災害対策に取り組み。
 - ・住宅地の防災性を高める
 - ・避難経路における避難の危険性がある区域の把握など、防災対策を行う。
 - ・4m幅、隅切りの確保等による一般住宅や店舗の防災性の向上を図る。
- ②災害を想定した対策
 - ・防災と行政・防災機関が連携して防災訓練等を実施する。
 - ・防災を想定した防災訓練を地域で実施する。
 - ・災害時の避難経路のあり方について検討する。

私たちの街づくり提案(中間まとめ)

1. 街づくりの理想像

ゆったりと暮らせるふれあいの街

私たちの街は、別荘や静けさが必要な街かもしれませんが、一方で、「ゆたかに」が感じられ、また、人と人だけでなく、様々なふれあいで、安心して暮らせる街をめざします。

2. 街づくりの基本的な考え方

文化や歴史、緑などの魅力ある街づくりを進める

芦花公園駅周辺地区は、文化的や歴史的魅力がある街としても知られており、駅周辺の活性化を図りたいと考えています。また、駅周辺には歴史や文化があり、その魅力を最大限に引き出すことが大切です。文化や歴史、緑などの魅力ある街づくりを進めていきます。

- ①ふれあい、助け合いがある街
 - ・このテーマは、将来の街づくりに向け、私たちの最も大切にしたいことでもあります。また、私たち自身が主体的に取り組むことで、「ふれあい」「助け合い」はもとより、それらが受けつらくなるように暮らす様に、「マナー」を大切にしたい街づくりを推進してまいります。
 - ①お祭り等による地域の活性化
 - ・お祭りなど、地域の活性化を図る。
 - ・駅前広場をお祭り等に活用できる場にする。また、お祭りができる歩道の再整備。
 - ②文化や歴史の推進
 - ・沿道の歩道などの整備により、路上喫煙などの喫煙活動の取り締まり。
 - ③地域の安全・安心
 - ・和合等の活動の推進や、PR活動の推進。
 - ・ふれあいサロンや防災訓練の場の確保。警備力の確保。

3. テーマ別の方針

「ゆたかに暮らせるふれあいの街」を実現するためには、文化・歴史や緑などの魅力だけでなく、様々なことを進めていく必要があります。街づくりを進めていく上での課題は、住んでいる場所や生活スタイルなどにより捉え方が異なりますが、ともに街づくりを進めていくために、次の3つのテーマに分けて方針を整理しています。

なお、この方針は、私たち協議会が主体となって取り組むべきこと、行政が主体的に進めていくべきこと、連携していくことなど様々なことを示しています。

- ①ふれあい、助け合いがある街
- ②文化や歴史など、異物が感じられる街
- ③ゆたかに、買い物ができる街
- ④災害に強い街
- ⑤のんびり、安全に歩ける街

①ゆたかに、買い物ができる街

芦花公園駅周辺は、大きな店舗はありますが、地域で買い物ができるという利便性は重要です。一方、店舗によりまちが狭く感じましたが、特に、高齢化が進む中、外出しにくい状態を解消し、買い物ができることは介護手帳にもつながります。そのためには、駅や沿道に様々な店舗や、ゆたかにと安心して買い物ができる街づくりを進めていきます。

中間まとめに関する意見をお寄せ下さい。
郵便又はFAX 03-6309-0131 にて、
5月27日(日)までにお送り願います。

さしつかえなければ、丁目と、お名前をご記入下さい。

区 _____ 丁目 _____

お名前 _____

④ゆたかに、買い物ができる街

芦花公園駅周辺は、大きな店舗はありますが、地域で買い物ができるという利便性は重要です。一方、店舗によりまちが狭く感じましたが、特に、高齢化が進む中、外出しにくい状態を解消し、買い物ができることは介護手帳にもつながります。そのためには、駅や沿道に様々な店舗や、ゆたかにと安心して買い物ができる街づくりを進めていきます。

- ①千歳通り整備に伴う沿道の商店街の整備
 - ・ゆたかにと安心して買い物できるような歩道の整備。
 - ②緑道の立地化で生まれる空間の商業利用
 - ・地元商店街の人は優先的に利用できるような環境を整える。
 - ③自転車でも利用できる商店街
 - ・荷物がある際の自転車利用や、新しく立ち上げた人も利用しやすいように買い物用の自転車整備の確保。
 - ④人と人とのふれあいがある商店街
 - ・お祭りなど、地域の活性化を図る。また、お祭りができる歩道の再整備。
 - ⑤高齢者や子育て支援の場や場合づくり
 - ・空き地、空き店舗を活用したふれあいサロンを開発する。
 - ・高齢者や子育て支援の場や場合づくり
 - ⑥人と人とのふれあいがある商店街
 - ・お祭りなど、地域の活性化を図る。また、お祭りができる歩道の再整備。
 - ⑦高齢者や子育て支援の場や場合づくり
 - ・空き地、空き店舗を活用したふれあいサロンを開発する。
 - ・高齢者や子育て支援の場や場合づくり

意見要旨	協議会の考え方・まとめへの反映
(1) ふれあい、助け合いがあるまち	
①お祭り等による地域の活性化	
②美化活動の推進	
路上禁煙やひと息つける場づくり等、実現するのが楽しみです。	今後の協議会活動として進めていく予定です。
③地域コミュニティの活性化	
地区内の資源や企業との連携。 例えば、木材屋やデザイナーと協力して、商店街の統一的な看板づくり。小学生や福祉作業所等との清掃活動。地区内の農家と飲食店の連携など。	(1)ふれあい、助け合いがあるまち ③地域コミュニティの活性化 の項に ○「地域の様々な人的資源のネットワークづくりを進める。」を追記します。 実現のため、皆様の積極的な参加をお待ちしています。
ゆったり落ち着いて生活できる反面、街としての活気が無く、地元で根付くという感じが無い。20～30歳代が住み続けたい街づくりとして、文化交流できるカフェ、豊かに生活できる美術館などの具体策が欲しい。	交流の場については、提案に盛り込んでいます。 また、当協議会には、20～30歳代の会員が殆どおりません。是非、協議会活動にご参加下さい。
○街づくりの進め方	
各世帯から寄付を募って活動費に充ててはどうか。1世帯1,000円で1,000世帯から集めれば100万円になる。	区からの活動費助成が終了するため、資金面等の充実は困難になると予想されますが、できることから少しずつ活動を進めていきたいと考えています。
町会、自治会や関係機関に「中間まとめ」を紹介するなど、住民・関係者の意識の高揚を図ってはどうか。	地区内全戸配布の他、一部の町会や管理組合を通じて配布・周知をしました。
長期的な取り組みと短期的な取り組みにわけて考える必要がある。 短期的な取り組みには、まちづくりの効果が実感できるようにする。例えば、旧甲州街道と千歳通りの交差点改良。	明確な区分は難しいと思いますが、そのことを意識しながら検討や活動を進めていきます。 一例として、ロータリー横断歩道の設置など、協議会活動の短期的な成果と認識しています。
(2) 文化や緑など、潤いが感じられるまち	
① 駅と文学館との回遊性を持たせる	
世田谷区側は文学館まで本当に良く整備されいてすばらしいと思う。	さらにネットワーク（歩行空間の整備）を広げていくことが必要と考えています。
千歳通り、駅周辺にカフェがあるといい	(2)文化や緑など、潤いが感じられる街 ①駅と文学館との回遊性を持たせる の項に
サンマルクが閉店して寂しい。文学館に訪れた人が食事をするところが無いので、駅前のパン屋の喫茶コーナーを再開して欲しい。	「ひと息付ける場（喫茶店）等づくり」を載せています。
駅前広場に花壇を。プランターは通行の邪魔にならない様に。	「歩きやすい街」＝（イコール）歩行者が第一と考えてます。
駅からワウディまでの千歳通りの歩道には赤いツツジが植えられていますが、郵便局から先あたりに、他の植物が植えられていあり、植木鉢が置かれ、ツツジが傷んでいます。ツツジに統一すべきであり、景観が台無しです。	(2)文化や緑など、潤いが感じられる街 ①駅と文学館との回遊性を持たせる プランター等による沿道の緑化をする。 の項の前半に 「街並みや景観に配慮しながら」を追記します。

意見要旨	協議会の考え方・まとめへの反映
UR団地内の水路の開渠化による子ども達の遊びと学びの場の整備。整備をしたばかりで難しいと思うが、子どもの情操教育上もプラスになる。	UR団地に限定するものではありませんが、(2)文化や緑など、潤いが感じられる街 ①駅と文学館との回遊性を持たせる遊歩道（緑道）を整備する。の項 緑道の後に、水路を追記します。
②緑の保全・創出	
緑地→マンションへの土地利用制限	協議会においても意見交換をしましたが、ご意見の様なルール化は困難と考えています。
小中学生が野球やサッカーができるような公園の整備	地区内で一定の用地を確保することは困難とされます。
④歴史を活かす	
公園や文学館への道を、よく聞かれます。案内板は是非欲しいです。	提案の中でも直ぐにでも実行できる内容と考えています。
◎景観	
千歳通り建築物の統一性を持たせる（外壁色や屋根瓦）	既に地区計画で一定のルールがあるため、提案の中には入れていません。
(3)ゆっくり、買い物ができる街	
①千歳通り整備に伴う沿道の商店街の整備	
ゆったりと暮らせる街もいいですが、生活には不便な街です。駅前には日常雑貨を置いているスーパーもなく、銀行も無いのでわざわざ隣駅まで行かなければなりません。人と待ち合わせをしたり、一人で時間を潰すためのカフェやファーストフードもありません。駅前ロータリーの無駄なスペースは何のために整備したのでしょうか。買い物を楽しめるような駅ビルでも作って頂いた方がよかったです。	ご意見の通り、駅前広場として十分に機能していないと考えており、 (1)ふれあい、助け合いがある街 ①祭り等による地域の活性化及び (5)のんびり、安全に歩ける街 ②歩行者が中心となる駅前広場（ロータリー）の再整備の項に 「ロータリーの再整備（イベント広場）」を提案しています。 また、カフェについては、 (2)文化や緑など、潤いが感じられる街 ①駅と文学館との回遊性を持たせるの項に、ひと息付ける場として提案の中にいれています。
駅から甲州街道までの商店街は電柱が車道に立っているの、車の通行の妨げになっている。	駅北側の千歳通りの整備については、最重要課題として提案しています。
千歳通り北側の単純な拡幅が困難なので、裏通りと合わせて一方通行にしてはどうか。	
千歳通りの拡幅	
千歳通り南側は綺麗になったので、北側も整備をして欲しい。	
芦花公園駅から旧甲州街道間の千歳通りの電柱の地中化最優先です。杉並区と世田谷区との間で事業の協調性が無いのが残念です。	
③自転車で利用できる商店街	
商店街の空き地を借り上げて駐輪場を整備。	提案内容に含まれています。

意見要旨	協議会の考え方・まとめへの反映
④人と人とのふれあいがある商店街	
商店街は何の発展もなく寂しい。売る立場、買う立場、両方の意識が希薄だったのでしょ。ゆったり落ち着いたと、活性化の両立に期待します。	協議会では両者の立場から意見交換をおこない、「(3) ゆっくり、買い物ができる街」として提案しています。
アーケードのある商店街は、特徴でもあるので、活かして欲しい。	具体的な整備の方法については、今後の課題と考えています。
◎その他商店街に関すること	
商店街や事業者の特徴を紹介する商店街マップを作成する。	商店会等が中心となって、ホームページを通じて情報提供をしています。
(4)災害に強いまち	
③災害を想定した対策	
緑あふれるUR団地はいいのですが、公衆電話がひとつも無いのは合点がいきません。災害時など携帯が不通の時に備えて設置すべき。	UR団地に限定するものではありませんが、(4)災害に強い街 ③災害を想定した対策の項に「・災害時の通信手段の確保(公衆電話等)」を追記します。
(5)のんびり、安全に歩けるまち	
①千歳通り(京王線北側)の整備	
千歳通りの一部歩道がないところがある。	具体的な場所が不明ですが、世田谷区で進めている「千歳通り北部沿道地区 地区計画」に基づき、整備されると考えています。京王線より北側及び駅前ロータリー東側の歩道の整備については、提案しています。
②歩行者が中心となる駅前広場(ロータリー)の再整備	
駅前広場は、歩道も狭く歩きづらい。シンボルトリーもなく、バスも通行できません。	(5)のんびり、安全に歩ける街 ②歩行者が中心となる駅前広場(ロータリー)の再整備の項に「ロータリーの再整備(イベント広場)」を提案しています。 ・協議会では、ロータリーの歩行者調査をおこない、関係機関に要望をした結果、現在、整備中です。(平成24年7月竣工、供用開始)
サミットからコンビニに行くのに横断歩道がなく危険を感じる	
ファミリーマートとサミットの間に横断歩道を設置して欲しい。	
既存の駅前ロータリーは、歩行者には不便です。	
芦花公園駅、駅前広場の再整備(コミュニティバスのための駅前広場の再整備は必要ない。コミュニティバスの実現性は乏しい。それよりも、現在のバス停留所を駅前広場に確保すべき。タクシー待ちが、乗用車や路線バスの障害になっている。タクシー台数が増えた場合の対策も必要)	
③旧甲州街道の歩行者の安全確保	
旧甲州街道の整備の推進と千歳通り交差点に右折レーンを設ける。旧甲州街道の整備が必要なければ、都市計画道路の規制を外す様に都に嘆願してはどうか。	法規制・技術上の観点から、提案には具体的な改善策を示さず方向性としてまとめています。 なお、具体的な改善策については、区や関係機関と連携を図りながら街づくりを進めていく予定です。
旧甲州街道の歩道部分に大きな車を止めて休んでいる人がいるので歩けません。ガードレールを設置して欲しいです。	

意見要旨	協議会の考え方・まとめへの反映
④住宅地内の道路の安全確保	
南烏山一丁目の生活道路・通学路の安全確保（セットバック）	法規制・技術上の観点から、提案には踏み込んだ改善策を示さずに方向性としてまとめています。 なお、具体的な改善策については、区や関係機関と連携を図りながら街づくりを進めていく予定です。
南烏山一丁目付近の道路の居住者専用化等通り抜け対策。	
リサイクルの日には古新聞を狙う大きな車が何台も来るので危ないです。お手伝いでリサイクル品を出しに来ている子どもたちの事故が心配。	
⑤高齢者や子育て交流の場や機会づくり	
子育てや教育環境を高めていく視点を、もう少し色濃くした方がよい。親御さんを対象にアンケート調査等を実施してはどうか。	協議会がそれらの調査をすることは難しいと考えています。
⑦バス路線の充実	
芦花公園駅を通りバスを1時間に4本くらいにして欲しい。	「運行回数の増」等として提案しています。
温水プールへのバスができれば利用したいです。	
コミュニティバスは世田谷美術館～用賀駅にも立ち寄って、地域から文学館のアクセス充実を望みます。	
バス路線の充実（京王線～小田急線）。ミニバスでもよいので是非。	
◎交通対策全般	
千歳通りの横断歩道で渡りたくても車は99%止まってくれません。渋滞すると横断歩道の上に平気で車を止めるので、渡るところがなくなります。	下記の通り加筆します。 （5）のんびり、安全に歩ける街 の項 ⑧交通安全対策 ・交通標識、交通安全施設（カーブミラー等）の改善 ・交通法規の遵守（マナーの徹底） ・適正な交通取り締まりの強化
朝、サミットの北側に搬入の大きな車が停まっていたり横断歩道を渡るとき、左からくる車が全く見えず、車からも渡る人が見えず危険です。	
京王線の連続立体化により、千歳通りの交通量が増加すると思われるので、安全対策を。	
甲州街道、千歳通りの歩道では自転車の速度規制を設ける。	
旧甲州街道の路側帯では自転車は一方通行にする。	
踏切では自転車を降りて渡るようにする。	
千歳通り以外の電柱の地中化	千歳通りの様に一定の幅員が無いと電柱の地中化は困難と思われます。

意見要旨	協議会の考え方・まとめへの反映
(6)その他	
◎防犯	
駅前交番が欲しい	下記の通り追記します。 (5)のんびり、安全に歩ける街の項 ◎防犯対策 ・自主的な防犯活動を含めたパトロールの強化 ・交番の配置の見直し等
◎連続立体交差化	
今の計画は京王線芦花公園駅の連続立体化計画について、提案では何もふれられていないので具体性に欠ける。	連続立体化はまちづくりの契機であるものの、協議会ではその内容を検討の対象としていません。
◎駅の設備・機能等	
キヨスクが無いのは芦花公園だけ。快速も停まらず、盛り上げようとする意思がない。	千歳烏山駅、八幡山駅が隣接していることから、急行や快速電車の停車は、鉄道運行上、困難であると思われます。
京王線の急行停車駅とする。	
駅のホームから富士山がよく見えるので、新駅舎建設の際には、富士見窓を。	鉄道事業者への要望と考えます。
◎その他	
みずほ銀行ATM前に自転車を止めると危険なので、高架下に移動して欲しい。(ATMの台数を増やして欲しい。)	協議会においても検討課題となっていることです。個別事案については提案内容には含めていませんが、今後の街づくり活動を通じて、必要に応じて関係機関に要望していきます。
郵便ポストの位置を移動して欲しい。	

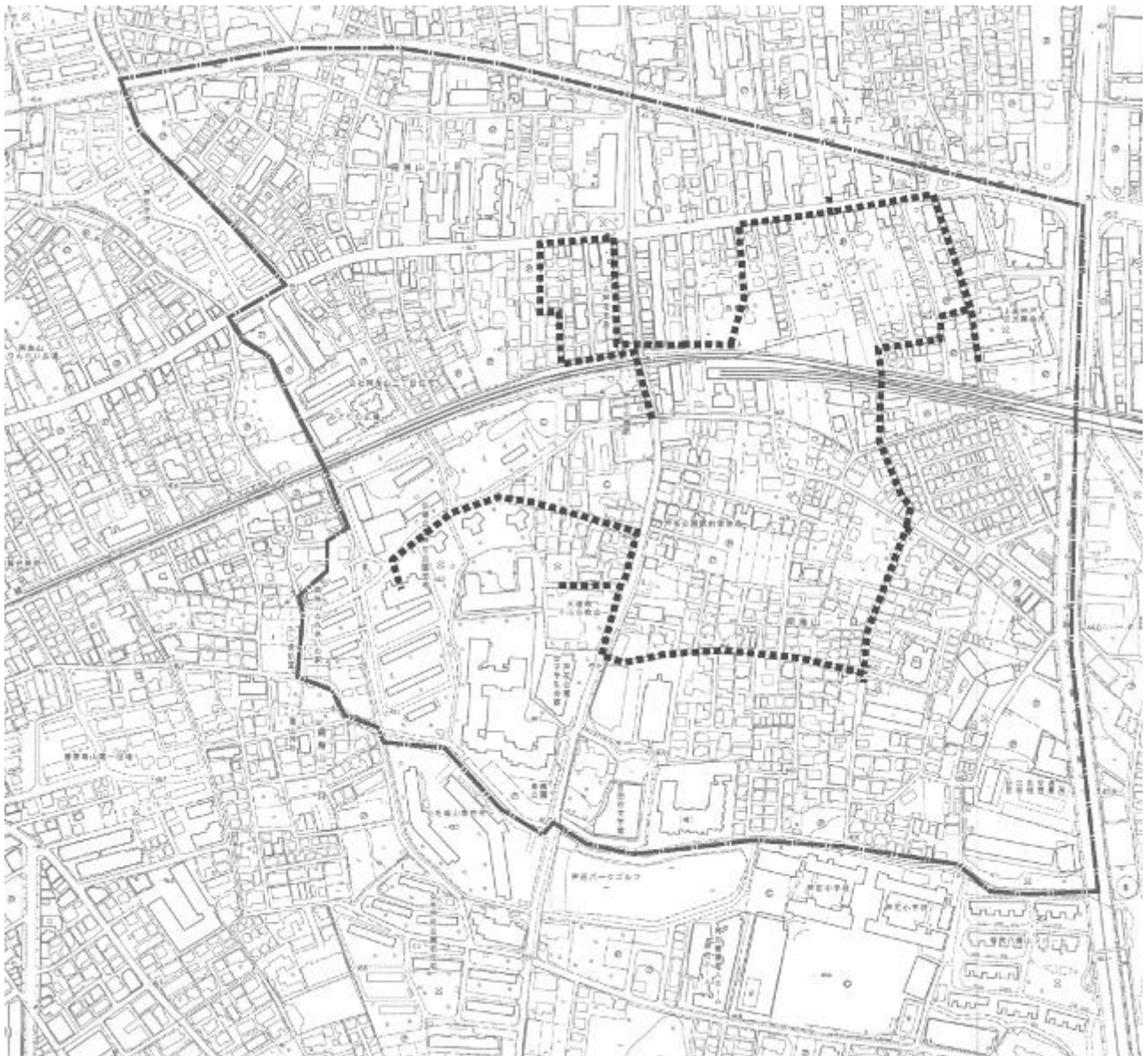
(3) 街の資源と課題（街歩きのまとめ）

芦花公園駅周辺地区 まち歩き（点検） 意見のまとめ

■開催概要

- ・日 時：平成22年7月17日（土） 13時～16時30分
- ・参加者：会員等15名 世田谷区職員4名 杉並区職員1名 派遣専門家1名

□点検コース（当日）



■主な意見

※原文のまま記載しています。

□道路

- ・道が狭い、歩行者が安心して歩ける道が少ない。車がすれ違いができる道が少ない
- ・道路が狭いことが逆に車がスピードを出さず、落ち着いた環境となっている。
- ・旧甲州街道、千歳通り以外の道は狭い。消防自動車が通れるか気になる。
- ・京王線の北側、6m道路が欲しい。
- ・千歳通りは、電柱が地中化されていて綺麗。
- ・環八の抜け道、特に夕方は危険。スピードも出している。→一方通行だと不便なので、ハンブ（道路の凸）等で対策ができないか。音の発生などハンブのデメリットがあることや、効果を限定的。
- ・踏切の拡幅を先行してできないか。

□井戸（防災）

- ・井戸が多い。
- ・殆どの井戸が5m程度の深さなので、あまり経費をかけずに掘れるのではないか。
- ・災害時の協力井戸は心強い。
- ・児ヶ谷会 以前は社宅で当時の井戸が残っている
- ・電気ポンプ式の井戸は、電気が止まると使えなくなってしまう。
- ・井戸の維持：パッキン等の部品のストック等、地域や役所で負担できないか。また、現在使えない井戸の復活を支援できないか。
- ・井戸を修理できる人を探していた。行政にも協力して欲しい。
- ・災害時には水の確保が重要。飲み水として使えないか。 どの様にすれば飲めるか。
- ・京王線の連立化で地下水の影響は。
- ・宙水（別名を中水（ちゅうみず）といい、連続した地下水面の上方にはなれて、局部的な不透水層（難透水層）の上にたまった地下水）：北烏山2～7丁目の分布図あり。大規模マンションの建設により井戸が涸れてしまうと声もある。
- ・液状化の心配はないのか。

□防災

- ・UR団地に防災設備があることを知らなかった。災害時の炊き出し設備はいい。是非、地域で使えるようにして欲しい。
- ・URの災害トイレは、水が確保できるのか心配。
- ・UR団地 ソーラー発電を使い、水を循環させていることに感動。
- ・芦花小中にも防災トイレが整備されている。形式がURとは異なる。
- ・井戸の場所は分からない。消防団の設備がどこにあるかわからない。
- ・震災井戸や避難場所、防災施設等の表示や案内図を設置できるといい。目に付く場所でないと意味がない。
- ・防災倉庫の充実
- ・一定規模以上の公園があり、災害時には仮設住宅も建設可能な土地が確保できるので、災害時には強い街であると思う。
- ・マンホールトイレは、区で計画的にしている。

□みどり

- ・畑が多いが、年々減少している。
- ・農地、空地が点在している。開発をしないことを望む。
- ・住宅地の緑が思った以上に多い。
- ・緑があると涼しい。
- ・一定規模以上の公園が多い。知らないところあった。
- ・内田邸の大木は見事だった。

□歴史

- ・石碑（井頭弁財天） 新たな発見。歴史を感じる街。調べてみるとおもしろいのでは。
- ・以前は、石碑の台座があった。
- ・いろいろなところに歴史が刻まれた石を見かける。調べてみると面白いのでは。
- ・高井戸は井の頭に通じる中継地だった。宿場であったが中途半端な位置でもあった。屋号が残っている。
- ・旧道沿いの旧家がほっとする。

□防犯

- ・1～2年放置されている空きアパートの防犯対策が必要
- ・学校のセキュリティと開放について検討する必要がある。
- ・京王線の地下道（土管）は暗い。明るくできないか。

□タバコ・ゴミ

- ・思ったより道路にゴミ無かった。
- ・土管の通路や集合住宅の周辺でタバコの吸い殻があった。

□街のおもしろさ

- ・長泉寺（駅直近の緑の空間）
- ・土管型の通路

□その他

- ・杉並のチベットとも言われている。公共施設は集会所のみ。自分たちでやるしかない。ひとつの例として、財産を守るために町会の法人格を取得した。
- ・商店会は、世田谷の商連に所属しているが、2区にまたがるため、連絡調整が大変な面もある。

□街歩きの様子



◆みどり
 ○畑が多いが、年々減少している。
 ○農地、空地が点在している。開発をしないことを望む。
 ○住宅地の緑が思った以上に多い。
 ○緑があると涼しい。



◆UR団地
 ○UR団地に防災設備があることを知らなかった。是非、地域で使えるようにしてほしい。
 ○UR団地 ソーラー発電を使い、水を循環させていることに感動。
 ○URの災害トイレは、水が確保できるのか心配。

◆防犯
 ○1～2年放置されている空きアパートの防犯対策が必要
 ○京王線の地下道（土管）は暗い。明るくできないか。



◆歴史
 ○道標（井頭弁財天） 新たな発見。歴史を感じる街。調べてみるとおもしろいのでは。
 ○以前は、石碑の台座があった。
 ○旧道沿いの旧家がほっとする。



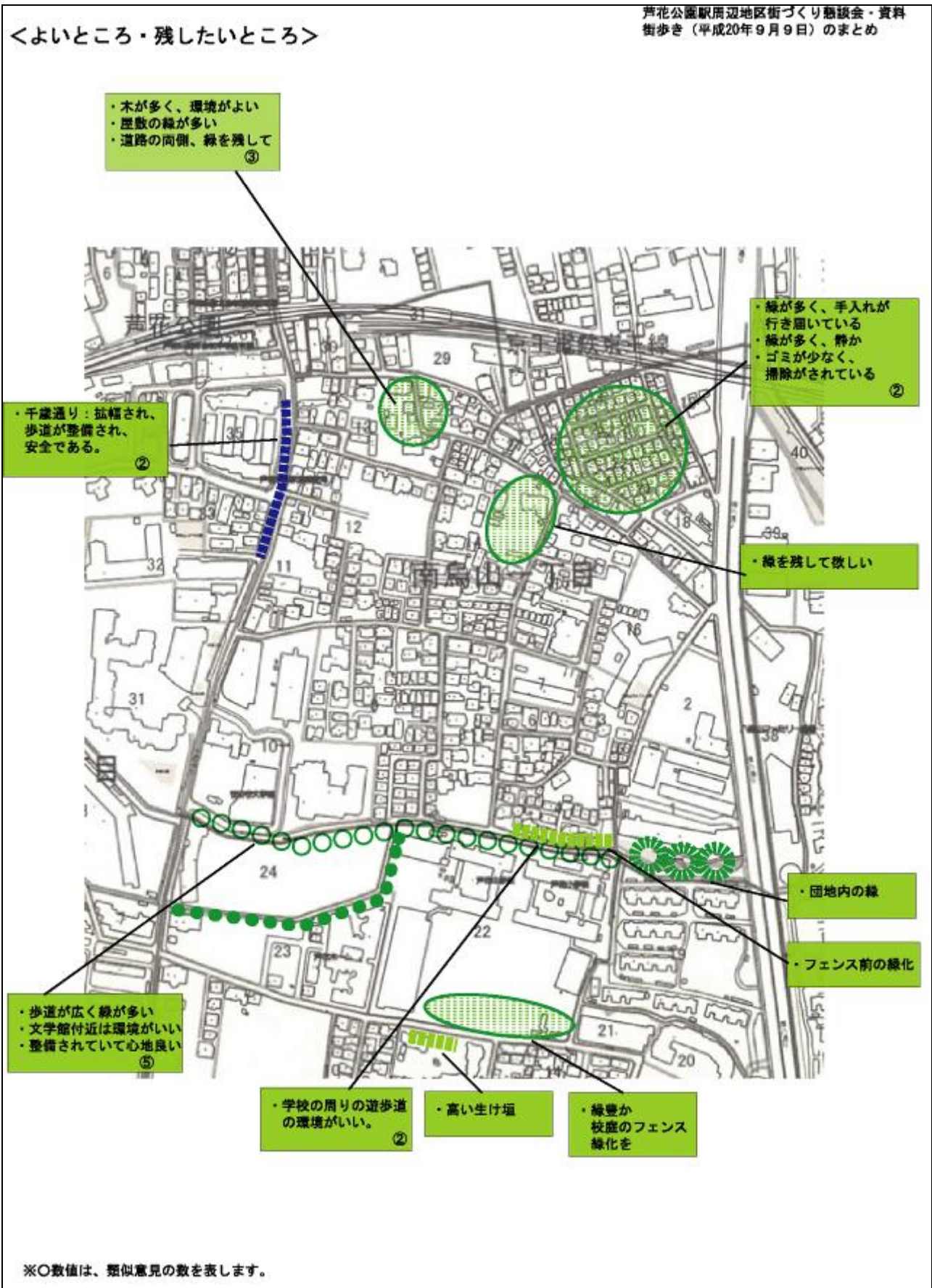
◆道路
 ○踏切の幅を先行してできないか。

◆タバコ・ゴミ
 ○思ったより道路にゴミが無かった。
 ○土管型通路や集合住宅の周辺でタバコの吸い殻があった。



◆道路
 ○環八の抜け道、特に夕方は危険。スピードも出している。→ 一方通行だと不便なので、ハンプ（道路の凸）等で対策ができないか。音の発生などハンプのデメリットがあることや、効果を限定的。
 ・旧甲州街道、千歳通り以外の道は狭い。消防自動車を通れるか気になる。
 ・京王線の北側、6m道路が欲しい。

■参考：街づくり懇談会における街歩きのみとめ（H20.9.9、H20.10.14）



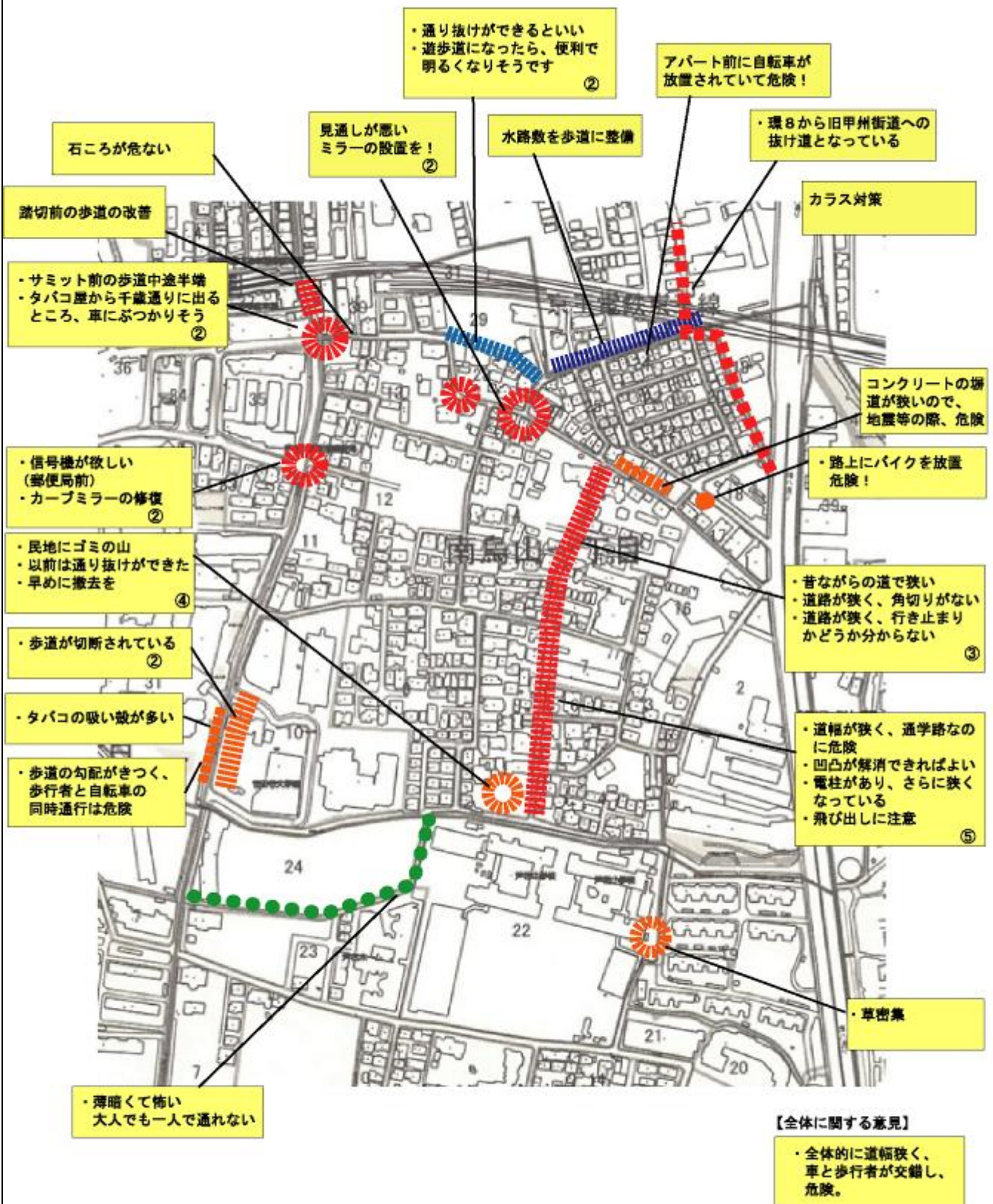
〈よいところ・残したいところ〉

芦花公園駅周辺地区街づくり懇談会・資料
街歩き（平成20年10月14日）のまとめ



<改善したいところ>

芦花公園駅周辺地区街づくり懇談会・資料
街歩き（平成20年9月9日）のまとめ



※○数値は、類似意見の数を表します。

<改善したいところ>

芦花公園駅周辺地区街づくり懇談会・資料
街歩き（平成20年10月14日）のまとめ

- ・古い民家が多く、震災の際に崩れて交通障害になるのでは
- ・地先道路が脆弱な街区

- ・タバコポイ捨て
- ・歩道にタバコのポイ捨て多し ②

- ・道が狭いのに通行が多い危険な道
- ・道幅が狭い
- ・電柱が邪魔 ③

- ・タバコ吸い殻が多い ②

- ・駅の南側に比べて宅地内に緑が少ない

- ・アーケード商店街の再生

- ・旧甲州街道への出入り（横断）が危ない

- ・旧甲州街道に抜ける道は狭くて危ない

- ・風呂やの煙突が傾いているので危険 ②

- ・歩道が狭くなっている（ゴミ箱が邪魔）

- ・焼鳥屋の煙が夕方になるとひどい

- ・整備されるとよい水路を歩道に
- ・水路敷を活用した歩行者空間の創設 ②

- ・車いす様スロープバギーは使えない

- ・歩道にバイク放置、危険

- ・ホームの横の通路を少し広くして欲しい

- ・古い民家（空家？）があり、倒壊の危険を感じる ③

- ・東西に抜ける道をつくれないうか

- ・踏み切りの歩道部分を広げて

- ・ロータリーのまわりにポイ捨てが多い（タバコ、空き缶）

- ・踏み切りの横にゴミが沢山捨てられていた

- ・踏み切りの歩道部分を広げて欲しい

- ・車道に対して歩道が狭く、危険！
- ・通学路が抜け道になって危険
- ・道幅が狭く、危険 ③

- ・通り抜け関係住民の意向は

- ・樹木の根元に空き缶のポイ捨てが目立った

- ・カーブミラーの設置を ②

- ・線路の下を通り抜けができればよいと思う。
- ・通り抜けができると便利
- ・京王線連立を契機に歩行者動線を確保
- ・南北に通り抜けできる人道を（土管方式でもよい）
- 地域のコミュニティづくりに役立つ。
- 防犯上の心配は少ない ④

※○数値は、類似意見の数を表します。